

分野	専門分野Ⅰ －基礎看護学－	対象学年	2
		時期	前期～後期
授業科目	診断・治療に伴う援助技術Ⅲ (与薬・救命救急) Care skills for Diagnosis and Treatment Ⅲ	単位	1
		時間	30
		方法	講義・演習
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	看護師として附属病院で13年間の実務経験有		
授業概要	与薬の技術の基本的知識を学び、与薬の技術・採血技術を習得する。診療の補助技術のなかでも薬物療法に伴う与薬の技術は、対象の生命に直接関与する。特に、薬物の効果や副作用の観察、発見、対処などの確実な知識と、薬物の効果を最大に発揮できるような確実な技術が求められる。ゆえに、ある程度の基礎技術を習得した2年次に行う。この技術は、医療事故につながりやすい技術であり、よりいっそう安全で確実な技術が求められる。また、災害や緊急な対処が求められる状況に応じて適切な判断と行動がとれるよう救命救急処置技術を学ぶ。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 与薬の技術の意義と援助方法を理解する。 2. 基礎的与薬の技術、採血技術を身につける。 3. 救命救急処置技術の意義と援助方法を理解する。 4. 救命救急処置技術を身につける。 5. 対象の尊厳に配慮する態度を養う。 6. わからないことを自ら考え、調べる姿勢を養う。 7. 主体的に取り組む姿勢を養う。 		
評価方法	終講試験 100点 ・与薬の技術 79点 ・救命救急処置技術 21点		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学【3】 医学書院		
参考図書	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院		
メッセージ	<p>【与薬】 この授業では、患者への侵襲の高い与薬の技術を学びます。 安全に実施できるよう真剣に取り組みましょう。</p> <p>【救命救急処置技術】 病院の内外を問わず、日常生活の中でも救命救急処置技術が必要となる状況に出会うかもしれません。看護学生として、対象の命を救うことのできる知識と技術を身につけましょう。</p>		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	I 与薬の技術	与薬の基礎知識について理解する	与薬とは 与薬の基礎知識 1) 剤形と吸収経路 2) 看護師の役割 3) 薬の管理	講義	
2	2. 経口、外用、直腸内の与薬方法	経口与薬、吸入、点眼・点鼻、経皮的与薬 直腸内与薬について理解する	経口与薬 吸入、点眼・点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬 1) 目的 2) 適応 3) 禁忌 4) 援助の実際	講義	
3	3. 経口与薬、直腸内与薬の実際	経口与薬・直腸内与薬を実施できる	経口与薬の実際 直腸内与薬の実際 1) 剤形の種類に応じた経口与薬の体験 2) 対象の羞恥心に配慮した直腸内与薬の体験 3) 誤薬防止のための確認	演習	

4	4.注射の基本知識（静脈注射、点滴静脈内注射の方法、中心静脈栄養の管理）	静脈内注射や点滴静脈内注射の目的・方法・注意点について理解する	注射の基本知識 1)注射の適応 2)注射方法と種類 静脈内注射の目的・方法・注意点 点滴静脈内注射の目的・方法・注意点	講義	
5	5.皮内・皮下注射の方法、筋肉内注射の方法、静脈血採血	目的・吸収機序・実施部位・針の刺入角度と深さを理解した注射の実施法について理解する	目的・吸収機序・実施部位・針の刺入角度と深さを理解した注射の実施法 皮内注射、皮下注射の目的・方法・注意点 筋肉注射の目的・方法・注意点 静脈血採血の目的・方法・注意点	講義	
6	6.皮下注射・皮内注射・筋肉注射の実際	皮内注射・皮下注射・筋肉注射を実施することができる	皮内注射の実際 皮下注射の実際 筋肉注射の実際 1)安全で正確に実施するための体位と注射部位の確認 2)適切な部位に、注射針の刺入角度・深さを守った注射の実施 3)薬液を注入する前の血液の逆流や痛みや痺れの確認	演習	
7	7.静脈内注射・静脈血採血の実際	静脈内注射・静脈血採血を実施することができる	静脈内注射の実際 静脈血採血の実際 1)安全で正確に実施するための体位と注射部位の確認 2)適切な部位に、注射針の刺入角度・深さを守った注射・採血の実施 3)薬液を注入する前の血液の逆流や痛みや痺れの確認と採血時の痺れの確認 4)注射の目的、薬剤の効果を理解した対象への説明及び採血の目的の説明	演習	
8	8.点滴静脈内注射・輸液管理の実際	点滴静脈内注射・輸液速度の調整を実施できる	点滴静脈内注射（静脈留置針）の実際 輸液速度の調整の方法 1)天敵静脈内注射の実施過程がわかる ①必要物品お適切な配置 ②留置針の操作 ③留置針の固定法 ④留置針の抜去方法	演習	
9	9.輸液ポンプ、シリンジポンプの操作	輸液ポンプ、シリンジポンプの操作方法について理解する	輸液ポンプ、シリンジポンプの安全な操作 1)適応 2)動作原理 3)正しい使い方 4)正しい管理	講義	
10	10.輸液ポンプ、シリンジポンプの操作の実際	輸液ポンプ、シリンジポンプの操作を実施できる	輸液ポンプ、シリンジポンプの操作方法 1)点滴台への取り付け 2)初動操作の確認 3)輸液ポンプの設定 4)輸液ポンプ、シリンジポンプ使用中の留意点 5)輸液ポンプ・シリンジポンプ操作中の留意点	演習	

11	11.中心静脈栄養や輸血の管理	中心静脈栄養法や輸血の管理方法について理解する	中心静脈栄養の管理 1)適応と目的 2)中心静脈カテーテルの管理と観察 輸血の管理方法 1)血液製剤の種類 2)副作用 3)投与時の留意点	講義	
12	Ⅱ救命救急処置技術 1.心肺蘇生法	救急蘇生法について理解する	救命救急処置の必要性、 救急蘇生法とは（BLS, ACLS） 一時救命処置とは	講義	
13	2.一時救命処置の実際	状況に応じて一時救命処置（BLS）技術が実施できる。	演習：状況に応じた一時救命処置（BLS）の実際	演習	
14	3.院内急変時の対応	二次救命処置について理解する	二次救命処置とは 救急蘇生薬 心肺蘇生の断念と中止 止血法	講義	
15			終講試験		